

# 第1章 教育行政の概観

## 1 平成28年度の本県教育の概要

東日本大震災、原子力発電所事故から5年が経過してもなお、多くの幼児児童生徒が県内外への避難生活を続けているなど厳しい状況が続いているが、避難指示の解除等に伴う小中学校の学校再開の動きが加速化するなど、本県教育の復興は着実に進行している。

このような中、平成29年3月に幼稚園、小学校、中学校の新学習指導要領が公示されたほか、高大接続システム改革の更なる検討、教員の養成・採用・研修の一体化に向けた教育公務員特例法等の一部改正など、国における教育施策のさらなる推進が見られた。

県教育委員会においては、「第6次福島県総合教育計画(改定版)」の3つの基本目標ごとに重視する観点を定め、20の施策に基づく事業に取り組んできたところであるが、本県教育をめぐる現状と課題を分析し、第6次福島県総合教育計画の後半4年間の取組を推進するための教育政策の方針となる「頑張る学校応援プラン」について検討を進め、平成29年3月に策定した。次年度以降、本プランに掲げた5つの主要施策を戦略的に推進することとした。

## 2 第6次福島県総合教育計画及び平成28年度の重点施策

### 基本理念

“ふくしまの和”で奏でる、  
こころ豊かなたくましい人づくり

### 基本目標

- 基本目標1 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成
- 基本目標2 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現
- 基本目標3 豊かな教育環境の形成

### 基本目標を達成するための施策

- 基本目標1
  - 施策1 子どもたちの豊かなところをはぐくみます
  - 施策2 子どもたちの健やかな体をはぐくみます
  - 施策3 子どもたちの生き抜く力を支える「確かな学力」を身につけさせます
  - 施策4 望ましい勤労観・職業観をはぐくみます
  - 施策5 障がいのある子どもたちが「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進します
  - 施策6 高度情報化社会を主体的に生きていく力をはぐくみます

- 施策7 国際化の進展に対応できる人づくりを進めます
- 施策8 公立大学において、社会をリードし、地域に貢献する人づくりを進めます

### 基本目標2

- 施策9 地域全体で子どもたちを教え育てる取組を支援します
- 施策10 家庭における教育を支援します
- 施策11 生涯を通して学習し、その成果が生きる環境を整備します
- 施策12 自然に親しみ、自然を尊重するところをはぐくみます
- 施策13 地域に根ざした伝統文化を保存・継承し、地域を愛するところをはぐくみます

### 基本目標3

- 施策14 教員の資質の向上を図ります
- 施策15 一人一人の子どもに教員が向き合うことができる環境を整備します
- 施策16 透明性の高い、開かれた教育を推進します
- 施策17 安全で安心できる学習環境の整備を促進します
- 施策18 地域における身近な文化・スポーツ環境を整備します
- 施策19 私立学校の振興を図ります
- 施策20 社会情勢や環境の変化に対応した学校づくりを推進します

本計画の運用に当たっては、毎年度重視する観点を定め、これに基づく事業を明らかにするとともに、計画の進捗状況を点検・評価することとしている。平成28年度は次の3つの観点を重視し、これらに沿った施策・事業を総合的に展開し、他部局における関連事業も含め、連携を図りながら教育施策を推進した。

### 平成28年度の重視する観点及び主な重点事業

#### 基本目標1において重視する観点

夢や希望の実現に向けた、たくましく生き抜く力を育む教育の推進

#### 継続 道徳教育総合支援事業

道徳教育推進校を指定し、推進校の授業公開や地区別協議会での実践研究発表を行うとともに、「ふくしま道徳教育資料集」を県内全ての小・中・高・特別支援学校に配布した。

#### 継続 子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業

子どもたちが仮設住宅訪問するなど、避難者との交流を通して元気を発信する事業、地域の復興を考え復興を他県等にアピールする事業、主体的に復興に寄与する社会体験・貢献活動事業をそれぞれ支援した。

### **継続 スクールカウンセラー等活用事業**

スクールカウンセラーを小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に配置し、児童生徒の心のケアに当たった。

### **新規 不登校・いじめ等対策推進事業**

生徒指導上の諸課題についての調査研究を行うため、運営協議会及び小中学校教員対象の研修会を実施するとともに、不登校対応資料を改訂し、配布した。

### **新規 ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト**

講習や演習を通してボランティア等の育成や資質向上を図ったほか、高校生が読書の楽しさを発信する「ビブリオバトル福島県大会」を開催した。

### **一部新 ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト**

「自分手帳」を小学校4年生全員に配布したほか、体育専門アドバイザーを小学校に派遣した。

### **一部新 平成29年度南東北インターハイ開催事業**

平成29年度南東北インターハイに向けての高校生の強化を実施するとともに、高校部活動を通して福島県の復興を県内外に発信した。

### **新規 ふくしま未来キッズワクワクプロジェクト**

自然体験や体を動かすことの魅力を伝え、運動不足の解消や体力増進につなげるため、自然の家においてアスレチック等様々な体験活動を楽しめる事業を開催した。

### **継続 地域スポーツ人材の活用実践支援事業**

中学校の武道・ダンスの授業と中学校・高等学校の運動部活動に対しスポーツ人材を派遣し、一層の指導の充実を図った。

### **一部新 ふくしまから はじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業**

関係部局等が連携し、「食環境を考える会」を開催したほか、小中学生を対象とする「ごはんコンテスト」を開催するなど、子どもたちの食環境の整備を進めた。

### **一部新 学校給食地場産物活用事業**

望ましい食習慣の形成や食育の観点から、学校給食に地場産物を活用する市町村の取組を支援した。

### **一部新 学力向上推進支援事業**

指導の改善に資する評価問題の作成と活用、効果的な指導法の実践研究を行った。さらに、学力調査を実施して本県児童生徒の学力の実態を把握し、授業の改善を図った。

### **継続 ふくしまから はじめよう。学力向上のための「つなぐ教育」推進事業**

指定地域の中学校を拠点校とし、推進協力校である小学校との交流授業を含めた授業研究等を行ったほか、家庭と連携を図るための「学びのプラン」「学びの手引き」を作成した。

### **継続 サポートティーチャー活用事業**

地域に貢献できる人材や社会においてリーダーシップを発揮できる人材を育成するため、サポートティーチャーを学校や教育委員会に派遣し、教科の学習を支援した。

### **継続 ふくしまから はじめよう。未来を拓く理数教育充実事業**

児童生徒の理数や専門的な学習の機会を充実させるため、

「福島県算数・数学ジュニアオリンピック事業」「理数教育優秀教員活用事業」「科学の甲子園福島県大会事業」を実施した。

### **継続 中山間地域インターネット活用学力向上支援事業**

南会津地区の中学校において、英語に特化したライブ事業の実施や、文化体験・語学体験研修会等を実施した。

### **継続 「生き抜く力」を育む防災教育推進事業**

「放射線・防災教育指導資料」等を作成し、研究協議会で活用するとともに、実践協力校による授業実践への支援を行ったほか、防災個人カードを小学校1年生全員に配布した。

### **新規 ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業**

本県の地域医療に貢献できる人づくりを支援するため、高校2年生対象の「メディカルセミナー」、高校1年生対象の「地域医療体験セミナー」、中学生対象の「医療体験セミナー」を開催した。

### **新規 ふくしまで生活基盤を築くための高校生支援事業**

県内各地に配置した進路アドバイザーが、事業所訪問、面接指導、進路講演会を実施した。

### **継続 インクルーシブ教育システム推進事業**

市町村や各地域における支援体制の整備・充実に向けて「地域支援ネットワーク会議」等を開催した。また、臨床心理士等を含む相談支援チームを県内6地区に配置し、ケース会議等をおこなうとともに、特別支援学校教員が小中学校を訪問するなど、相談支援を行った。

### **新規 入院児童生徒等への学習支援体制整備事業**

長期入院している児童生徒の在籍校、病院、特別支援学校、教育委員会等の関係機関が連携し、支援体制の構築を行った。

### **継続 高等学校学習支援推進事業**

県立高等学校に学習支援員を配置し、発達障がい等の生徒の特性に応じた学習支援など、きめ細かな支援を行った。

### **継続 夢に向かってテクノチャレンジ事業**

生徒の学習意欲の向上や、各学校における作業学習のさらなる充実を図るため、特別支援学校作業技能大会を開催した。

### **継続 特別支援学校における医療的ケア実施事業**

重度の障害のある児童生徒が、安心・安全に学ぶことができる環境づくりを行うため、医療的ケアが必要な児童生徒が在籍する特別支援学校に看護師を配置した。

### **継続 うつくしま教育ネットワーク事業**

ネットワークの運用に必要なシステム運用管理等の委託や、機器の保守・更新等を行った。また、平成29年10月で運用を停止するメールシステムに替わるふくしま教育クラウドサービス（FCS）の運用を開始した。

### **新規 グローバル人材を育む小中連携英語教育推進事業**

グローバル化に対応できる未来のふくしまを担う人材の育成を目指すため、双葉地区の小中学校を対象に、小中一貫した指導計画の作成や、異文化体験交流活動等を実施した。

### **一部新 ふくしまの未来を担う高校生海外研修・グローバル支援事業**

高校生がホームステイをしながら本県の現状や復興の状況の発信等を行うため、高等学校の支援を行った。

## 継続 スーパーグローバルハイスクール事業

ふたば未来学園高等学校が企業や大学と連携し、質の高い国際的素養の育成を図るためのカリキュラムの開発、実践を行った。

## 継続 英語指導力向上事業

英語指導及び学習評価の改善についての実践研究を行うため、小中学校、高等学校のモデル校を指定し、公開授業や授業研究を行ったほか、大学教授等を講師とした研修会を開催した。

## 継続 双葉地区教育構想（国際人育成プラン）

スポーツ交流を目的として、ふたば未来学園の生徒をドイツに派遣したほか、JICA 職員による授業を実施した。

### 基本目標2において重視する観点

学校、家庭、地域の連携・協働による、総合的な教育力の向上

## 新規 学校支援地域本部事業

地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進し、地域教育の活性化を図るため、市町村に委託して学校支援地域本部を設置した。各市町村のコーディネーターが中心となり、学校支援ボランティアが学習活動の支援や登下校時の見守り、部活動補助等の活動が行われた。

また、子どもたちがスポーツや文化活動、交流活動などを行うことができる放課後子ども教室が運営された。

## 継続 学校・家庭・地域連携サポート事業

地域全体で教育活動を支援する体制づくりを構築するため、コーディネーター養成研修会や、先進的な取組の実施状況の見学等を実施した。

## 新規 ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

「人と人のかかわり」の中で感じたことや、「ふくしま」への思い、復興への願い等を十七字で綴った作品を募集し、優秀作品を表彰した。

## 継続 地域でつながる家庭教育応援事業

親の学びを支援するために、親子の学び応援講座を開催したほか、家庭教育応援企業推進活動を募集した。

## 継続 東日本大震災福島復興ライブラリー整備事業

東日本大震災に関する資料を収集し、広く県民に情報提供するとともに、避難自治体等を対象に移動図書館車の巡回を行い、資料の貸し出しを行った。

## 継続 ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業

豊かな人間性と生きる力の育成を図るため、震災の体験を踏まえ再発見した郷土の良さを発信していく交流活動や、充実した自然体験活動を行う機会等を提供した。

## 新規 先駆けの地における再生可能エネルギー教育推進事業

推進校の児童生徒が、県内における再生可能エネルギー関連施設でフィールドワークを行いながら、再生可能エネルギーと資源の利用に関する理解を深めた。

## 継続 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業）

東日本大震災で被災した国指定・県指定文化財の修復に要する費用を助成した。

## 継続 地域の「きずな」を結ぶ民俗芸能支援事業

東日本大震災・原子力発電所事故の影響により存続の危機にある民俗芸能を、避難先等で公開する活動等の費用を助成した。

### 基本目標3において重視する観点

安全・安心で魅力ある教育環境の充実

## 継続 優秀教職員表彰制度

教育活動の活性化を図るため、学習指導や生徒指導等において顕著な成果をあげている教職員を表彰した。

## 継続 大規模改造事業

学校施設の安全性を確保するため、老朽化した学校施設の機能を回復する大規模改修と耐震改修を併せて行った。

## 継続 高校等奨学資金貸付事業 大学等奨学資金貸付事業

能力があるにも関わらず、経済的理由により就学困難と認められる高等学校、専修学校、大学等に在学する者や、東日本大震災により被災し経済的に修学困難と認められる高等学校、専修学校（高等課程）に在学する者に対し、奨学資金の貸与を行った。

## 継続 被災児童生徒等就学支援事業

東日本大震災により被災、避難した幼児児童生徒に就学支援等を行った。

## 継続 高等学校通学費支援事業

サテライト校等への通学により経済的負担が大きくなる生徒の保護者等に対し、通学費を支援した。

## 継続 県立学校施設等災害復旧事業

東日本大震災により被災した県立学校施設等の復旧を行った。

## 継続 県立学校施設応急仮設校舎等設置事業

東日本大震災、原子力発電所事故により避難を余儀なくされた学校の教育環境を確保するため、応急仮設校舎等の設置を行った。

## 一部新 学校給食検査体制支援事業

学校給食の一層の安全・安心を確保するため、学校給食食材の放射性物質検査を実施する市町村を支援した。

## 継続 学校給食モニタリング事業

希望する市町村の学校給食1食分に含まれる放射性物質検査を民間の検査機関に委託して行った。

## 継続 公立学校等校舎内緊急環境改善事業

市町村等が行う市町村立学校等への空調機器等の整備を支援した。

## 継続 少人数教育推進事業

個に応じたきめ細かな指導が可能となるよう、30人及び30人程度学級編制に必要な教員を配置した。

## 一部新 双葉郡中高一貫校設置事業

ふたば未来学園高校の備品、教材等を整備するとともに、寮及び食堂施設の運営を行ったほか、県立中学校の在り方や教育内容を協議するための「県立中学校検討協議会」を開催した。

### **継 続 ふたば未来学園中学校・高等学校整備事業**

生徒の学習・生活環境の確保を図るため、ふたば未来学園中学校・高等学校の校舎・寄宿舎等の施設を整備した。

### **一部新 双葉・南相馬教育復興推進事業**

双葉郡内の小中学校及びふたば未来学園高等学校の教育活動の充実を図るとともに、サテライト校及び本校に復帰した高校に対し、地域課題解決や、イノベーション・コースト構想に寄与し、地方創生を担う人材を育成するための教育活動を支援した。

### **継 続 双葉地区教育構想緊急対応事業**

富岡高校及びふたば未来学園高校の緊急寮の生活環境及びスポーツ競技に係る授業トレーニング環境を整備した。

### **継 続 特別支援学校整備事業**

相馬支援学校移転新築準備、たむら支援学校、石川支援学校たまかわ校の開校準備、富岡支援学校の四倉高校内への移設準備などを行った。

### **新 規 県立特別支援学校学習環境整備事業**

特別支援学校全体整備計画に基づき整備する学校の備品等を整備した。

### **継 続 サテライト校宿泊施設支援事業**

サテライト校の集約に伴い、保護者の元からの通学が困難となる生徒の宿泊施設を確保した。

### **継 続 サテライト校運営管理事業**

サテライト校の管理運営に係る経費を支援した。

### **継 続 サテライト校支援事業**

学校行事等を一堂に会して実施できるよう、バスや会場使用料等を支援したほか、高等学校入学者選抜における受験生用バスを用意するなどした。

### **継 続 復旧・復興の基盤作りのための教員配置**

相双、いわき地区を中心に、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、震災加配教員を配置した。